

西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第85号

発行日…平成二十七年四月一日

発行者…西成連区地域づくり協議会 一宮市小赤見字郷浦五三(一宮市西成出張所内)

電話…28-9002

新年度事業が始動へ

平成27年度事業計画と予算や新体制が、3月末の総会で承認され、いよいよ「協議会」の始動です。「安心・安全、連携、自立」の理念のもとに、安心・安全で、ふれあいあふれる絆のある地域「にしなり」を目指します。

皆様方の積極的な参加とご協力をお願いします。

① 提案事業～地域防災力アップ推進事業～(最終年度)

防災講座など地域防災リーダーの養成に努めるとともに、宿泊型6月6日(土)～7日(日)は赤見小で、また、半日型は6月13日(土)に西成東小で、翌週の6月20日(土)には浅野小で避難訓練・避難所開設訓練等を開催します。

災害時要援護者対策も重要な課題であり、西成連区でスタートした「見守りネットワーク事業」などを充実させ、「いざという時」に備えます。



② これまでの地域づくり協議会事業も新しい視点から取り組みます。

ビューティフルウインドウズ運動(通学路周辺花いっぱい運動)・「敬老会」・「西成探検隊(ウォーキング)」・「防犯・交通安全の啓発活動」・「高齢者教養講座」・夏祭りをはじめ各種講座などの「公民館事業」・「写真コンテスト」なども、より充実したものとなるように努めます。

にしなりの良心を発揮して!

ご近所の^{きずな}絆「見守りネットワーク事業」の充実を図ろう!

実態調査にご協力を!

～新しい絆「向こう三軒両隣」の気配りを!～自助・共助～

一人暮らし世帯、老々世帯など要援護世帯を地域(町内会)で把握するため、27年度も町内会の班長(組長)を中心としてその「事態把握調査」を実施します。

大地震、風水害など災害時には「自助・共助」が求められます。まず、自分が隣人の手助けのできる状況「自助」が求められます。

防犯・防火に関しても『近助』で支援体制を整えることが、まず第一です。10数年前の「孤独な死」を教訓に、「西成」でスタートした「見守りネットワーク事業」を、今一度初心に立ち返り、充実したものにするため「地域力の向上」が求められています。

26年度調査結果では、老々世帯が871世帯(前年比22世帯増)、一人暮らし世帯が734世帯(前年比22世帯増)でした。

見守りネットワークは何をするの?

★だれを?

ひとり暮らしのお年寄りやお年寄りだけの世帯など

★どんな時?

何日も姿を見かけない。洗濯物が出しっぱなし。

新聞・郵便物がたまっているなど様子がおかしい。

★どうするの?

町会長、組長(隣組長・班長)などの役員、民生児童委員に連絡する。

